

ホームページ用

平成29年11月20日
観光商工部スポーツランド推進課

宮崎市田野運動公園等の指定管理者の指定の議案に関する概要説明書

宮崎市田野運動公園等の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、平成29年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

1 指定管理者候補者の概要

(1) 団体の名称及び代表者名

たのたい共同企業体

- ・ 代表構成員：株式会社ジェイレック宮崎
代表取締役 加藤 裕之
- ・ 構成員：株式会社ジェイレック
代表取締役 加藤 裕之
- ・ 構成員：株式会社フォスタ
代表取締役 呉屋 智仁

(2) 主たる事務所の所在地

- ・ 株式会社ジェイレック宮崎：宮崎中西町42
- ・ 株式会社ジェイレック：東京都練馬区関町南1丁目12-4
- ・ 株式会社フォスタ：沖縄県浦添市伊祖4-21-11

(3) 設立年月日

- ・ 株式会社ジェイレック宮崎：平成7年6月28日
- ・ 株式会社ジェイレック：昭和61年2月19日
- ・ 株式会社フォスタ：平成18年7月19日

(4) 事業概要

○株式会社ジェイレック宮崎

- ・ 公共スポーツ施設の指定管理や運営、管理業務をはじめ、施設維持管理業務、各種運動指導業務、イベント開催・支援等を、九州圏内で事業展開を行っている

○株式会社ジェイレック

- ・ 公共施設の管理運営（指定管理者制度、PFI事業）
- ・ 総合ビルメンテナンス業（清掃全般、各種設備管理、警備業務）
- ・ スポーツ施設の管理運営、高齢者介護予防事業、各種イベント運営事業

○株式会社フォスタ

- ・ 指定管理による公共の施設の管理運営
- ・ 介護予防事業の受託事業

(5) 資本金又は基本財産

- ・ 株式会社ジェイレック宮崎 : 10,000千円
- ・ 株式会社ジェイレック : 50,000千円
- ・ 株式会社フォスタ : 10,000千円

(6) 従業員数

- ・ 株式会社ジェイレック宮崎 : 73人
- ・ 株式会社ジェイレック : 200人
- ・ 株式会社フォスタ : 104人

2 指定期間（予定）

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

3 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

①施設名	②所在地	③施設規模等
宮崎市田野運動公園	田野町乙 9549	102,675 m ² ・ 多目的広場（サッカー1面） ・ 野球場（両翼94m、中堅120m、 （夜間照明有）） ・ テニスコート（砂入人工芝コ ート2面、クレークコート2面） ・ 武道館（剣道場 柔道場） ・ 弓道場（6人立）
宮崎市田野体育館	田野町乙 10905 番地 26	鉄筋コンクリート1,498.26 m ² ・ バレーボール2面、バドミン トン6面
宮崎市 B & G 海洋センター体育館	田野町甲 2942 番地 1	鉄筋コンクリート1,102.27 m ² ・ バレーボール2面、バスケット ボール1面
宮崎市 B & G 海洋センタープール	田野町乙 9541 番地 2	732.28 m ² ・ 25m×13m、6コース

(2) 業務概要

- ①施設の貸出に関する事
- ②施設の使用許可に関する事
- ③施設使用料等の徴収及び収納に関する事

- ④施設の維持及び保全に関すること
- ⑤施設の管理運営に関して市が必要と認めること

(3) 現在の管理方法

指定管理者 田野町域社会体育施設管理運営共同企業体

※株式会社ジェイレック及び株式会社フォスタで構成するグループ

(平成25年4月1日から平成30年3月31日まで)

4 事業計画の概要

(1) 施設の運営が、市民の平等な利用を確保するものであること

①管理運営に対する基本方針

「人と人」「人と地域」を繋ぐハブ機能として捉え、3つのテーマを掲げ運営を行う

- ・安全・安心
- ・CS満足度向上
- ・法令順守

②市民の平等な利用の確保

年齢、性別、国籍、ハンディキャップの有無に関わらず、すべての人に平等で公平な運営を行う

③要望、意見、苦情への対応

利用者からの要望、要求、苦情等の申出は、所長を中心に一元管理を行い、“ホウレンソウメソッド”「報告・連絡・相談」を周知徹底する

(2) 施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること

①使用者サービスの向上に関する提案

- ・サイン（看板や張り紙）のリニューアル
- ・わかりやすく快適な案内サービス
- ・バリアフリーのための備品の整備（老眼鏡や筆談ボードを継続して配置等）

②使用者増への取り組みに関する提案

- ・WEBサイト等コンテンツの継続活用及び充実化
- ・広報誌（たのたい通信等）による施設情報の継続発信及び充実化
- ・マスコミへの働きかけ等で、広域情報発信

③施設の設置目的の理解と課題の認識

○設置目的についての考え方

- ・安心、安全なスポーツ、憩いの提供
- ・高品質、高効率な運営管理
- ・周辺地域への貢献、地域コミュニティ施設の創造
- ・公共性、公平性が確立された施設運営
- ・市民スポーツ、健康増進活動への寄与

○今後の課題

- ・「安心・安全」を考え危険個所を早期発見する
- ・早期対応を行う
- ・子供から高齢者まで利用しやすい施設づくり・プログラムを実施し、地域の活性化

に繋げる

④設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案

- ・市民スポーツの振興については、スポーツ人口の裾野を広げるため、「スポーツフェスタ」等の様々なイベントを定期的を開催する
- ・大会、合宿受入れについて、ネットワークを活かし、「スポーツランドみやざき」のサポート役として、大会、合宿誘致にも積極的に協力する
- ・自主事業については、市民の誰もが参加できる各種教室を開催して地域活性化に寄与し、スポーツ用品、自動販売機による飲料の販売も行う
- ・B & G海洋センタープール管理については、プール管理マニュアルを使用する
- ・フォスタ協力のもとB & G財団や宮崎市と連携を図り、利用者サービスを実施する

(3)施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること

①指定期間に市が提案する指定管理料に対する提案額

- ・グラウンド整備を直営化し、コスト削減を図る
- ・人件費は最低賃金上昇等を考慮し、年1%ずつ増加する
- ・消防用設備点検、自家用電気工作物点検、機械警備、一般廃棄物収集運搬、プールろ過点検に関しては、専門性、特殊性等の理由で再委託を行う

②管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方、提案

- ・エネルギー削減化
節電対策として需用電力対策、節水対策としてトイレのフラッシュバルブの調整等をこまめに行う
- ・新電力切替えによるコスト削減
平成29年度より切り替えた新電力事業者との契約を継続する
- ・巡回点検による作業効率化
常駐スタッフによる設備巡回点検を実施する
- ・直営化による委託料削減
グラウンド整備を直営で行い、全体のコストの大幅な圧縮につなげる
- ・スポーツトラクタの別途導入（継続）
宮崎市備品のスポーツトラクタに加え、当グループの所有するスポーツトラクタも導入する

(4)管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること

①人的体制の確保

- ・スタッフは地元雇用を最優先とし、従事経験や必要資格を考慮のうえ、宮崎市の雇用対策にも貢献する
- ・管理運営組織の中に、田野地域スポーツ活性化委員会を継続設置すると共に、アドバイザーボードも継続要請する
- ・グループの意思決定機関として、経営委員会を設置する

②職員の能力育成（研修体制）

- ・新規採用スタッフは社内規定のトレーニング（Off JT、On JT）研修を受け

て業務に就かせる

- ・ジェイレックが認証を受けたISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）に準じたマニュアルによる研修を行う
- ・維持管理や安全管理、また運営に関するスタッフ研修を項目別に行う

③事業計画の実現可能性（継続性、安定性）

- ・地域活動へ積極的に参加し、地域住民とのコミュニケーションや地域活動に貢献する
- ・市主管課と密に連携・協議し、施設の設置目的に沿った市民サービスを提供する
- ・アンケートや意見箱から、地域や使用者のニーズを把握する

④類似施設等の運営実績

- ・株式会社ジェイレック宮崎
串間市総合運動公園（指定管理）、宮崎県総合運動公園（業務委託） 等
- ・株式会社ジェイレック
宮崎市田野運動公園（指定管理）、日南市総合運動公園（指定管理） 等
- ・株式会社フォスタ
宮崎市田野運動公園（指定管理）、名護市B&G海洋センタープール（指定管理） 等

⑤申請者の安定性、信頼性

株式会社フォスタの自己資本比率及び固定比率は低いが、グループ運営の母体は健全性の高い株式会社ジェイレックが行うので、安定した運営が見込まれる

(5)安全管理に対する対応

災害及び不審人物の対応など、危機管理に対する対応

- ・ヒヤリハットについては事例集を作成し、全体訓練や施設会議を通じて情報の共有化を図る
- ・緊急時には確実な情報管理と職員に対する指示等までの一連の流れを一元化する
- ・事故発生時には被害者の救護を最優先にした対応を行う
- ・台風や地震等の自然災害は、職員の安全性を確保し、緊急度合いに応じた対応を行う
- ・警備業法のノウハウを活かした高い防犯体制を確立する
- ・施設や設備事故時、適正なマニュアルを事前に作成し、それを熟知しておく
- ・安全・安心に利用頂く環境整備に努め、各業務におけるリスクコントロールを行う
- ・社会的規範や企業倫理を順守し、企業の社会的責任を果たす

(6)労働福祉の状況

雇用に対する基本的な考え方

- ・雇用に関する法令を順守し、男女雇用機会均等の確保や多様な働き方のニーズに対応した就業環境づくりを推進する

(7)環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況

①環境に配慮した施設管理

- ・ジェイレックが認証を受けたISO14001（環境マネジメント）の活用と、積極的な3R+1Rの推進と啓発活動、周辺環境への配慮を行う

②障がい者の就労支援への対応

- ・ 田野運動公園においても、利用者の安全管理に支障のない業務で、障がい者の方の雇用を検討する

※上記の事業計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

5 収支計画の概要

■収入

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5ヵ年合計
指定管理料	26,463	26,461	26,610	26,761	26,914	133,209
収入合計	26,463	26,461	26,610	26,761	26,914	133,209

■支出

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5ヵ年合計
人件費	14,797	14,945	15,094	15,245	15,398	75,479
維持管理費	9,534	9,534	9,534	9,534	9,534	47,670
委託費	762	762	762	762	762	3,810
事務費	1,370	1,220	1,220	1,220	1,220	6,250
支出合計	26,463	26,461	26,610	26,761	26,914	133,209

※上記の収支計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画（指定管理料を含む。）は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

■参考

【平成28年度管理運営費収支決算】

[収入] 計 26,338千円

- ・ 指定管理料 26,338千円

[支出] 計 28,892千円

- ・ 人件費 16,572千円
- ・ 光熱水費 7,683千円
- ・ 維持管理費（委託費、賃借料） 2,509千円
- ・ その他経費 2,128千円

※上記は、指定管理者からの事業報告に基づき、市の指定管理料積算項目に再配分したものです。

6 選定結果の概要

(1) 公募の概況

① 応募団体

3団体

②募集日程

募集開始	平成29年	7月21日
指定管理者募集に係る合同説明会	平成29年	7月25日
施設視察会及び現地説明会	平成29年	8月2日
第1回質問の受付	平成29年	8月7日～8月10日
第1回質問の回答	平成29年	8月18日
指定管理者応募意思表示書等の受付締切	平成29年	8月25日
第2回質問の受付	平成29年	8月28日～9月1日
第2回質問の回答	平成29年	9月8日
指定管理者指定申請書等の受付締切	平成29年	9月25日
ヒアリングの実施	平成29年	10月16日

(2)宮崎市社会体育施設指定管理者候補者選定委員会

(敬称略)

	役職等
会長	観光商工部長
委員	宮崎公立大学 准教授
〃	宮崎市スポーツ推進審議会委員 宮崎市地区体育会連合会 所属
〃	宮崎市スポーツ推進審議会委員 女性スポーツ指導者
〃	田野総合支所長
〃	高岡総合支所長

(3)選定の概況

ア 選定理由

宮崎市社会体育施設指定管理者候補者選定委員会において、申請者からの応募書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」で定める次の基準により、総合的に審査を行った。

- ①事業計画書に基づく当該施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること
- ⑤安全管理に対する対応
- ⑥労働福祉の状況
- ⑦環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況

その結果、事業計画において、「利用者サービスの向上に関する提案」、「使用者の増加を図るための取り組みに関する提案」、「市民スポーツの振興」について、現指定管理者としての実績を持ち、課題を把握した上で具体的な提案がなされており、更なる

充実した管理を行うことが期待できると高い評価を得た

これらの理由から、たのたい共同企業体が当該選定基準に適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

イ 審査結果一覧

選定の基準	満点 (配点×委員数)	最低 基準点	候補者 たのたい 共同企業体	団体A	団体B
①事業計画書に基づく当該施設の運営が、市民の平等な利用を確保するものであること	180		138	136	126
②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること	360		284	265	250
③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること	210		148	143	143
④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること (重要基準)	450	180 (満点×40%)	317	342	334
⑤安全管理に対する対応	60		46	44	40
⑥労働福祉の状況	30		22	20	20
⑦環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況	60		43	44	46
合計得点	1,350	810 (満点×60%)	998	994	959
選定委員会における多数決の結果			3	2	1
決戦投票			6	0	
【参考】提案金額(単位:千円)			133,209	133,800	133,780